



P T A 通信 N80号

発行日 令和7年2月28日(金)
 発行者 富山県立富山工業高等学校 P T A
 会長 伊藤新一
 TEL 076-441-1971
 FAX 076-432-1250
 編集 広報委員会
<https://www.toyama-th.tym.ed.jp>
 印刷所 いおざき印刷株式会社



高校生ロボット相撲全国大会
3kg級ラジコン型 優勝



日本管楽合奏コンテスト全国大会(高等学校B部門)
最優秀賞

工業ならではの実習参観

令和6年9月25日～10月1日の5日間、各実習室にて実施しました。

(292名の保護者が参加)



アンケートより

●私も仕事で工作機を使用することがありますが、何気なく使用している工作機のパーツの名前など基本的なことをしっかりと学べてとても良いと思います。しっかりと学んで、よい社会人になれることを期待します。
(3年機械)

●少人数で専門学習ができるのが良いと思いました。生徒がもっと発言して、わからないことがわかるようになっていって欲しいと思います。見学は短い時間でしたが、参加できて良かったです。ありがとうございました。
(2年建築)

●迷子になったら、先生に道案内してもらいました。お忙しいのにありがとうございました。学校が広いので、見甲斐があります。また実習見学したいです。よろしく願います。
(1年金属)

●電気なので親にはさっぱりわからないことを勉強しているんだなと感心しましたが、本人わかっているのかな？とチヨット不安にもなりました(笑) 難しいですね。実習はなかなか見られるものではないので、毎年この参観を楽しみにしています。ありがとうございました。
(2年電気)

●測量の実習だったので、グラウンドはとても暑かったです。子どもたちは3時間行っている点心配になりました。実習自体は、先生とコミュニケーションをとりながら頑張っていて真剣に取り組んでいるなと感じました。身近ではない作業だったので何をしているのかは分かりませんが、興味深かったです。(2年土木)



1年生



2年生



3年生



PTA校外研修会 11月27日(水)
 見学先 富山県立大学射水キャンパス
 株式会社 能作
 PTA副会長 田村千春

PTA主催の校外研修会が11月27日に開催されました。校外研修会は、卒業生の進路先である大学と企業を見学する機会、保護者の目線で見て触れて今後の進路選択の候補になればと開催される行事です。

午前中は射水市にある「富山県立大学射水キャンパス」を訪問しました。学校の説明によると、射水キャンパスと富山キャンパスの2ヶ所があり半数近くが県内出身だそうです。令和6年4月に情報工学部も開設され、進化と成長を続ける大学と感じました。少人数による行き届いた教育で、きめ細かく丁寧な指導を受けることができます。研究室を見学した際は、本校卒業生の学生が研究室の案内をし、学会で発表するなど、とても充実した学生生活を過ごしていると話していました。

昼食は、能作カフェで美味しいランチを頂きました。保護者の方々と交流も生まれ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

昼食後は、同能作で工場の視察や錫の箸置の製作体験をしました。工場視察では、間近で職人の方の技を見ることができ、とても繊細な作業に目をうばわれ、「これぞ、ものづくり高岡伝統工芸の町」と実感しました。普段体験することの出来ない貴重な体験ができて、とても有意義な時間となりました。



PTA校内研修会 12月5日(木)
 「学生から学ぶ大人のコミュニケーション術」
 研修委員 佐藤陽子

12月5日にFMとやま・FMとなみのラジオ番組でパーソナリティーをされている、タナベ マサキ氏をお迎えし、「学生から学ぶ大人のコミュニケーション術」と題して研修会を行いました。

さすがラジオパーソナリティー。テンポの良いトークと素敵な笑顔に引き込まれ瞬く間に時間が過ぎ、講演が終わる頃には言いようもない爽快感となんとも形容し難い「なるほど」という思いに溢れました。

先生が冒頭に言われた「会話は一本橋を渡るようなもの」お互いが少しずつ譲り合って渡ること、コミュニケーションが成り立っていくということ、至極当然のことでありながら、何気ない日常会話の中では忘れがちになる重要ポイントだと再確認させられました。また、概念(客観的で人それぞれ感じ方の違うもの)、観念(主観的で人それぞれの人に共通する知識)を理解した上で話することの大切さ、知らない事は親でも子どもに、「それ知らないから教えて!」と素直に聞く、そして何よりも大事なのは感謝の言葉「ありがとう」を声に出して言うこと。それら様々なことが融合してコミュニケーションが生まれていくことをこの講演で痛感致しました。

皆さまもこれからは「ありがとう」を積極的に伝えていきましょう!



令和7年1月6日現在

項目 学科	在籍生徒数	就職希望者	就職希望者の内訳				進学希望者	進学希望者の内訳				
			県内	県外	公務員	自営他		大	短大	高専編入学	職業訓練校等	専門学校他
機械	78(5)	49(2)	47(2)	1	1	0	29(3)	13	0	0	8(2)	8(1)
電子機械	39(1)	16	14	1	0	1	23(1)	18(1)	0	0	3	2
金属	39(5)	29(2)	27(2)	1	1	0	10(3)	8(1)	0	0	0	2(2)
電気	75(3)	60(2)	51(1)	8	1(1)	0	15(1)	7	0	0	2	6(1)
建築	36(15)	29(12)	25(12)	3	0	1	7(3)	5(2)	0	0	0	2(1)
土木	40(6)	34(6)	29(4)	2(1)	2(1)	1	6	2	0	0	0	4
合計	307(35)	217(24)	193(21)	16(1)	5(2)	3	90(11)	53(4)	0	0	13(2)	24(5)
			70.7%					29.3%				

()は女子の内数

令和6年度 第3学年の進路状況

求人数は昨年度に比べ少し増加し、最終的には求人数は昨年より減少しました。しかし、本校全体の求人倍率は約11倍であり、依然として企業の採用意欲は高い状況にあります。公務員では富山県技術系職員、富山県警察、自衛隊に内定しています。12月末には就職希望者の内定率が100%となりました。ご協力ありがとうございました。

進学関係においては、3学年全体で約30%の生徒が進学を希望し、4年制大学では富山大、新潟大、富山県立大などに合格しています。進学先の割合は工業系が約75%となっています。

部活動紹介

想いを繋ぎ、未来を切り拓く

富山工業高校ラグビー部父母の会 横澤 光治郎

「たいっそーうー(体操ー)」とチームのムードメーカー藤木の掛け声に、「おーうー」と桑本主将はじめ、40数名の野太い声がグラウンドに響きわたり、練習がキックオフされる。

さて、ラグビーは15人がそれぞれの役割を全うし、共に勝利を目指すスポーツである。その中で富工ラグビー部は、我々父母をはじめ、多くの富工ラグビーファンに熱い感動を与えてくれた。フォワードの力強いスクラムと突進、バックスの華麗なパス捌きやステップ、最後の砦としてトライを阻止するフルバックのタックル。各ポジションが専門性を存分に発揮する姿は、まるでひとつの歯車のように機能し、見る者を魅了した。

ただ、このようになるまで辛い練習量をこなしたことも事実である。皆、息が上がりに膝に手をつき肩で息をする。すると誰かが「吉川ー盛り上げてくれー」と無茶ぶる。寡黙な吉川は仕方の無い表情で「俺たちってストロングだぜー」と鼓舞すると皆は「おおーっ」と笑顔に戻り、息を吹き返す。この繰り返しを彼らを作り上げたのである。このくんだり、格好よく言えばこの仲間意識が好きであった。

というのも私自身、ココのOBであり、3年生時の、花園大会の県予選決勝で敗れた悔しさがいまだに残っている。その雪辱を果たすべく、親として息子とその仲間に、OBとして後輩らに想いを託してきた。結果、雪辱は果たせなかったが、彼らの真剣な眼差し、仲間を信じる心、そして心身の成長ぶりは、あの頃の私を超える力を感じさせた。

今、その時々場面が思い起こされ涙がでそうであるが我慢して書き続ける。

本年度、優勝は逃したが勝ち越してはいる。勝負事であれば良いことである。しかし忘れてはならないのは、試合に勝つことだけが目的ではなく、仲間との絆を深め、各々の力を最大限に発揮することが高校ラグビーの真髄である。選手、マネージャーが見せてくれた全力の青春はOB、OGとなっても多くの富工ラグビーファンに感動や共感を与えてくれると信じている。

さてさて、練習も終わりである。円陣を組み、主将が冷静沈着にその日をまとめて課題を明確にする。私の時代には無かった習慣であり、驚いた。社会人・大学生になっても続けてほしい良い習慣である。そして主将の一本締めで練習がノースタートを迎えると一気に普通の高校生に戻る。愛おしい奴らである。私は心の中で「花園に連れてってくれよ。頼むぞ」と祈り、私のラグビーな一日も終わる。

最後に、父母の会長として、選手、マネージャー、先生方、父母による二人三脚で良いチームサポートができたと自負している。また、皆と一緒に、30年ぶりに青春の時間を過ごせたことに感謝！ありがとう！



インターハイに出場して

坂井海輝 藤根悠奈
堀田ひかり 山本風花 (A2)

私たちが山岳部女子隊は、春季大会で優勝し、福岡県で行われたインターハイに出場することができました。山岳競技は4人1チームの団体競技であり、知識審査や読図審査、装備審査、テント設置、歩行技術の5つの観点を基に点数を競います。インターハイは県大会とは異なり、4日間に行われ、そのうち3日間は登山をします。そのため、忍耐力とチームワークが試されます。インターハイでは、普段とは違う環境のため暑さに慣れず思わぬアクシデントが起こるなど、戸惑うことも多くありましたが、チームで声をかけあい、最後まで乗り越えることができました。そして、他県の選手とも交流し、仲を深めることができました。大会中、他県の先生や地域の方々に声援を送っていただいたことがとてもうれしかったです。インターハイを終えて、日々の練習の積み重ねがとても大切だと実感しました。来年は、男女ともに県大会で優勝し、インターハイではさらに上位を目指してがんばりたいです。



「溶接甲子園」と「高校生ものづくりコンテスト全国大会」に参加して

大友 爽楽 (M32)

私は8月2日〜3日に愛媛県で行われた、全国選抜高校生溶接技術競技会 in 新居浜、溶接甲子園と、11月9日〜10日に秋田市で行われた高校生ものづくりコンテスト全国大会の2つの全国大会に出場しました。両大会での優勝を目指して、毎日放課後や土曜日に校内での練習や、出前講座で指導を受けるなど、準備を進めてきました。

溶接甲子園では1位の選手と同点だったものの、大会ルールで「非破壊検査による内部欠陥の少ない方」が優勝となるため、惜しくも2位という結果になりました。

ものづくりコンテストではリベンジを目指して挑みましたが、公式練習時に与えられた環境ではいつもの溶接条件に合わせる事ができないトラブルがあり、満足な練習ができなまま当日を迎え、結局思うような仕上がりにならず4位となりました。

この悔しさを胸に、先日行われた高校生活最後の12月の県大会では、大会初の2年連続優勝を達成し、私の高校生活3年間の競技大会を終えました。

私は、橋梁や水門などの大型構造物を作る会社に溶接工として就職します。高校3年間で経験したこと、そしてこれから社会人大会で経験すること、自身の仕事に活かして、立派な職人になれるようこれからも頑張っていきたいと思っています。



受賞の記録

(令和6年度1月中旬までの記録)

放送部

- ・高校放送コンテスト
 - 創作テレビドラマ部門 優良賞
 - 創作ラジオドラマ部門 優良賞
 - アナウンス部門 優良賞
- ・ラジオドキュメント部門 優良賞
- ・校内放送研究発表部門 優秀賞
- ・NHK杯全国高校放送コンテスト
 - 校内放送研究発表部門 研究奨励

吹奏楽部

- ・中部日本個人・重奏コンテスト本大会
 - 木管三重奏 金賞
- ・富山県吹奏楽コンクール
 - 高等学校A部門 金賞・県代表
 - 中部日本吹奏楽コンクール富山県大会 金賞・県代表
- ・北陸吹奏楽コンクール
 - 高等学校A部門 銀賞
 - 日本管楽合奏コンテスト予選審査会 本大会出場
 - 中部日本吹奏楽コンクール本大会 金賞
 - 高等学校大編成の部 金賞
 - 日本管楽合奏コンテスト全国大会 最優秀賞
 - 高等学校B部門 最優秀賞

写真部

- ・朝日北陸写真展
 - 高校生の部 準特選 山本 風花(A2)

軽音楽部

- ・高校軽音楽コンテスト中部大会
 - ベストプレイヤー賞 林 智哉(M32)

機械工学部

- ・北陸高校生溶接コンクール
 - 最優秀賞 大友 爽楽(M32)
 - 北陸地区溶接協会 特別賞 大友 爽楽(M32)
- ・全国選抜高校生溶接技術競技会
 - 被覆アーク溶接部門

- ・ものづくりコンテスト全国大会
 - 溶接部門 敢闘賞 大友 爽楽(M32)
 - 県溶接技術競技会 団体の部 優勝
- ・個人の部
 - 優勝 大友 爽楽(M32)
 - 県知事賞 大友 爽楽(M32)
 - 三位 杉本 実(M12)
 - 優良賞 副島 伊織(M32)
 - 優良賞 平瀬 大樹(M21)
 - 優良賞 小嶋 圭(E22)

電子機械工学部

- ・高等学校ロボット相撲選手権 東海選手権
 - 500g級自立型 優勝 岩崎 天真(D1)
 - 3kg級自立型 二位 島田 陽介(D3)
 - 3kg級自立型 三位 前田 七暉(D1)
 - 3kg級ラジコン型 優勝 荒井 大輝(D3)
- ・全日本ロボット相撲北信越・東海大会
 - 3kg級自立型 二位 宮本 寛太(D2)
 - 3kg級自立型 優勝 三浦冬希弥(D2)
 - 3kg級ラジコン型 優勝 島田 陽介(D3)
 - 500g級ラジコン型 優勝 荒井 大輝(D3)
- ・ジャパンマイコンカーラリー北信越大会
 - AdvancedClass 優勝 高橋 菜子(D3)
 - BasicClass 三位 金山 風花(D2)
 - CameraClass 二位 柳瀬 一葉(D2)
 - 高校生ロボット相撲全国大会 3kg級ラジコン型 優勝 岩崎 天真(D1)
 - 3kg級ラジコン型 優勝 荒井 大輝(D3)
 - ジャパンマイコンカーラリー全国大会 優勝 伊藤 大陽(D1)

金属工学部

・富山県発明とくふう展

- 優秀賞 長尾 心温(H3)
- 宮田 悠希(H3)
- 古川 詠惇(H2)

電気研究部

・全国ソーラーラジコンカーコンテストin白山

- ユニーク賞 川崎 秀斗(D2)
- 田畑 永和(E22)

建築工学部・建築工学科

・中央工学校建築系高校生コンペティション

- 木とともに暮らす軽井沢の家
 - 優秀賞 柴田 碧衣(A3)
 - 奨励賞 中田 琴羽(A2)

・日本工業大学建築設計競技

- 課題「肝っ玉母さんのような家、あるいは頑固親父のような家」
 - 佳作 池田梨華子(A3)
 - 佳作 下村水愛佳(A3)

ICS DESIGN AWARD

・ICM:子供の居場所

- 最優秀賞 関谷 佑樹(A3)
- 優秀賞 坂本 京(A3)

・愛知産業大学建築コンペティション

- A部門 佳作 田口莉緒奈(A3)
- 北陸の家づくり設計コンペ
 - 優秀賞 柴田 碧衣(A3)
 - 松本弥夢捺(A3)
 - 佳作 安部 美音(A2)
 - 瀬山 愛花(A2)
 - 中田 琴羽(A2)

・日本大学全国高等学校・建築設計競技

- 優秀賞 藤木 響(A3)
- 優秀賞 早川 哲平(A3)

・富山県デザイン展

- 学生建築デザインコンペの部
 - 最優秀賞 松本弥夢捺(A3)
 - 最優秀賞 坂本 京(A3)

土木工学部

- ・ものづくりコンテスト県大会
 - 測量部門 最優秀賞 高田 考太(C3)
 - 橘川 薫(C3)
 - 高田 亮太(C3)
 - 石橋 誠弥(C3)
 - 山下 航世(C3)
 - 江尻 大夢(C3)

ラグビー部

- ・県春季大会
 - 全国高校7人制
 - ラグビーフットボール大会県予選 二位
 - 全国高等学校ラグビーフットボール大会 富山県大会 二位

ソフトテニス部

- ・県春季大会
 - 男子ダブルス 三位 金津 結大(H2)
 - 吉藤 蓮斗(C2)

・県高校総体

- 男子団体
 - 北信越大会出場
- 男子個人戦ダブルス
 - 三位 金津 結大(H2)
 - 吉藤 蓮斗(C2)
 - インターハイ出場

・県ジュニア選手権

- 男子団体
 - 三位 金津 結大(H2)
 - 吉藤 蓮斗(C2)

・県秋季大会

- 男子ダブルス 三位 金津 結大(H2)
- 吉藤 蓮斗(C2)

・男子シングルス

- 二位 金津 結大(H2)

・県高校新人ソフトテニス選手権大会

- 男子団体
 - 二位

・県高校新人陸上競技対校選手権大会

- 共通男子八種競技
 - 五位 城本 桧吏(A1)

・ハンドボール部

- ・県春季大会
 - 男子の部 三位

・ 県高校総体

男子バレーボール部

・ 県春季大会
・ 県高校総体

・ 県秋季大会

バスケットボール部

・ 県高校総体

・ 富山地区選手権

・ 富山地区選手権

・ 富山市体

・ 富山市体

・ 富山市体

卓球部

・ 県春季大会

・ 県春季大会

・ 県春季大会

・ 県春季大会

・ 県春季大会

・ 県春季大会

柔道部

・ 県春季大会

北信越大会出場 三位

北信越大会出場 三位

北信越大会出場 三位

北信越大会出場 三位

北信越大会出場 三位

北信越大会出場 三位

田近 匠深(H3)

・ 県高校総体

・ 県春季大会

・ 県秋季大会

瀧川 虹星(M22)

酒井 禅(H3)

瀧川 虹星(M22)

男子舵手付きクオドルプル 二位

高桑 暖亘(M21)

若島 琉生(A2)

宮田 射知(M12)

高野 央丞(D1)

石田 知寛(H1)

高桑 暖亘(M21)

若島 琉生(A2)

宮田 射知(M12)

高野 央丞(D1)

石田 知寛(H1)

電子機械工学科

・ 富山県 教育功労優良児童生徒

扇原 珠桜(D2)

村本 一(H3)

拓希(E22)

・ 中部選手権
・ チャレンジアスリートの部

男子舵手つきクオドルプル 優勝

渡木 遥太(M32)

竹井 虎徹(M32)

横島 楓(D3)

澤田 瑛人(C3)

松浦 鷺慈(D2)

・ 自動車の整備部門



**令和6年度
北信越地区高等学校PTA連合大会
長野大会**
PTA会長 伊藤新一

令和6年度北信越地区高等学校PTA連合大会が7月5日・6日の2日間に渡り、長野県長野市で開催され、富山県代表として富山工業高等学校が研究発表しました。研究発表テーマは、「学校とPTA、生徒と保護者をつなぐPTA活動」

まずは本校の沿革・特色、PTA活動、そして他校では実施されていない独自の実習見学、校外研修会について話をしました。実習見学は各学科各クラス毎に1週間に渡り実習があり、普段自分の子供がどんな授業・実習をしているのかを保護者が間近で見学体験が出来る事を話し、普通科ではなかなか実施出来ないこともあり、大会参加者の方々から多くの質問を貰い、富山工業のPTA活動にとっても興味を持ってもらったことが凄く嬉しいことでした。PTAの協力がここまで大きい事に多大なる評価も頂きました。

そして2日目は元スピードスケート金メダリストの小平奈緒さんの記念講演でした。小平さんのスケート人生を歩み始めたきっかけ、海外チームに入り自分に足りなかったものを発見できた事、言葉の壁で自分の気持ち伝わらないもどかしさ、そして致命傷の怪我からの再起にかける日々の奮闘話を聞かせて頂きました。

金メダリストとして周りから言われる重圧感、それに応えなきゃならないという使命感、それに対する自分の気持ちの苦しさもあったようでした。とても自分には体験出来ない話でした。

この先のPTA活動についての考えや在り方を改めて考えさせられた講演でした。これからのPTA活動に活かしたいと思います。



**令和6年度
全国高等学校PTA連合大会 茨城大会**
大会テーマ『歴史の町で確変を!!』
『新たな時代が目に入らぬか』
PTA副会長 堀 麻由美

8月22日23日の2日間において、水戸市で行われました、第73回全国高等学校PTA連合大会に参加しました。

開会式後、5つの分科会にて各テーマに沿った基調講演が行われました。私たちが参加した分科会では、「PTAは学校作りのパートナー」という演題で、花園大学社会福祉学部教授炭谷将史氏の講演があり、PTAの始まりから現在の流れ、目的と必要性、各校が抱える運営の問題を分析した観点から、今後の運営に向けての提案としてお話をしてくださいました。後半はグループトークに参加しました。全国から集まったPTAの方々の生の声は、PTA役員の成り手が少ないということ、切実な思いでお話下さった学校もありました。また、運営や参加率が上がったとご紹介下さった学校もあり、とても興味深いお話をお聞きすることが出来ました。

2日目は、二所ノ関寛氏(第72代横綱 稀勢の里)の記念講演がありました。テーマは『人材育成の不易流行』、現役を引退されてから大学院に通い、地元茨城県に相撲部屋をつくることになった経緯や、時代に合わせた相撲部屋のある方、人材育成の仕方をお聴きしました。

新しいことを始めるのは容易ではありませんが、たくさんの方々のお話を聞く機会をいただいたことで、新しい取り組みや改善策を考えるヒントになりました。今後のPTA活動に活かして行きたいと思います。



あいさつ運動
PTA副会長 温井 昭如

10月21日〜23日にかけて、正面校門前にて先生方とPTAであいさつ運動を行いました。短い活動時間でしたが、先生との交流や、みなさんの元気な様子を窺ってとても良かったです。



編集後記

PTA通信N80号をご一読いただきありがとうございます。本年度も様々なことに挑戦する生徒の姿に心を打たれ、そのサポートにご尽力頂いた先生方には感謝しかありません。また、広報誌作成の為、貴重なお時間を割いて頂いた保護者の皆様、お力添え頂きましたこと誠にありがとうございます。皆様のご協力があったからこそ、本号も充実した内容に仕上げる事ができました。改めて御礼申し上げます。

PTA副会長 福谷 麻美